

Information

米国内科学会 (ACP) 日本支部 2012 年総会・講演会のお知らせ

米国内科学会 (American College of Physicians : ACP) は、1915 年創立の米国内科専門医会 (ACP) と、1956 年設立の米国内科学会 (ASIM) が 1998 年に合併して誕生しました。現在、世界 80 カ国に 13 万人 (医学生・研修医会員 1.5 万人を含む) の会員を有する国際的な内科学会で、最高水準の専門的な内科診療技術を育成し、医療の質を高め、医療をより効果的にすることを使命にしています。"Annals of Internal Medicine" を学会公式雑誌とし、年次学術総会、生涯教育 (MKSAP)、医療政策提言などさまざまな活動を行っています。ACP 日本支部は、2003 年にアメリカ大陸以外では初めて設立が許された支部で、会員数が 1,000 名を超え、医学生や研修医など若手会員が 20% を占めるまでになっています。日本内科学会の総合内科専門医を有する内科医は ACP 正会員に、ACP 正会員のうち要件を満たす者は Fellow (FACP) の称号を申請できます。以来、毎年総会・講演会などの活動を行ってきました。

本年も恒例の総会・講演会を開催します。ACP の会員であるなしにかかわらず、どなたでもご参加可能です。英語での発表が主ですが日本語の要約も提供されます。

日時 ● 2012 年 4 月 14 日 (土) 13:00~18:15

会場 ● 京都大学時計台百年記念ホール

プログラム ● 基調講演「オバマ政権医療政策改革の内科診療への影響」 ACP 前会長 Fred Ralston・「基礎研究と臨床のギャップを縮める」柳田素子 (京都大学)・「内科診療の本道への回帰」上野文昭 (大船中央病院) / ミニレクチャー「患者の言葉からどこまで診断できるか」徳田安春 (筑波大学)・「診察所見からどこまで診断できるか」岸本暢将 (聖路加国際病院)・「ACP Pier 活用法」野口善令 (名古屋第二赤十字病院)・「あなたの抄録をグレイド・アップしよう」福原俊一 (京都大学) / ACP 日本支部前支部長講演：黒川 清 (政策研究大学院大学)

*** 午前プログラム (9:30~12:00)** ①「北米式症例発表方法」錦織 宏 (東京大学)、「EBM style Journal Club」岸本暢将、G. A. Deshpande (聖路加国際病院)、「イクメンドクターは医療界を変えるか」岩田健太郎 (神戸大学)、他 / ②内科診断・治療の基本：「不明熱」柳 秀高 (東海大学)、「総合診療ケース・スタディ」川島篤志 (市立福知山市民病院)、「輸液のキホン」柴垣有吾 (聖マリアンナ医科大学)

*** 詳細は下記ホームページを参照。**

参加費 ● 会員・非会員 3,000 円 (学生、初期研修医、Associate 無料) / 懇親会 (会費制)

参加登録 ● <http://www.efeel.to/survey/ACP>

問合せ先 ● ACPJC 2012 年総会・講演会事務局

☎ 606-5198 京都市左京区吉田近衛町 G225

E-mail : acpjc2012@epikyoto-u.jp

URL = <http://acpjc.naika.or.jp/jpnchap>